

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟規則及び本大会実施規則によって行う。

2. 競技者の招集について

(1) 招集所は、管理事務所（第4コーナー競技場）の外側に設置する。

(2) 招集時間

競 技 種 目	招 集 開 始 時 刻	招 集 完 了 時 刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始60分前	競技開始30分前

(3) 招集の手順

(ア) 競技者は、招集完了時刻までに招集所で招集を受け、スタート地点またはピットにおいて出発係または投てき・跳躍審判の最終点呼を受け、指示に従う。

(イ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に申し出ること。

(ウ) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目に出場できない。

3. ナンバーカードについて

ナンバーカードは、各学校に割り当てられた中体連番号または、福岡陸協の個人ナンバーカードを使用すること。

4. 競技について

(1) 走高跳、におけるバーの上げ方は、次のとおりとする。

男 子	130（練習）135－140－145－150－155－160－165 以後3cmずつ
女 子	115（練習）120－125－130－135－140－145 以後3cm ずつ

順位決定のためのバーの上げ下げは、2cmとする。

※棒高跳のバーの上げ方については、競技開始前に審判長が決定する。

(2) 競技運営上、下記未満の記録は計測しない。

男子 走幅跳 4m50 砲丸投 6m00 三段跳 9m00

女子 走幅跳 3m50 砲丸投 7m00

ただし、(1)、(2)項目については、コンディション等により変更することがある。

(3) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュしたあとも自分のレーンに沿ってカーブを走ること。

(4) リレー及び走高跳の助走マークは、使用してもかまわない。ただし、各自責任を持って片付けること。

(5) 競技場内における跳躍、砲丸投の練習は、審判員の指示に従って行うこと。

(6) 競技者は競技する以外は、トラック及びフィールドに立ち入ることはできない。

5. 競技の抽選及び番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載順の左から右へとする。
- (2) トラック競技（短距離種目）の予選は、すべてタイムレースで行い、記録の上位24名以内を準決勝に出場させる。組分けやコース順は、番組編成員によって行う。ハードル競技およびリレー競技は、8名（8チーム）以内で決勝を行う。
- (3) トラック競技の800m以上の種目の予選は、タイムレースで行い、800mは12名、1500mは18名、3000mは20名程度を決勝に出場させる。
- (4) トラック競技でタイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が写真を拡大（1/1000秒以上の差が認められた場合）して進出者を決める。それでも決められないときは、同記録者が抽選をして進出者を決定する。
(競技規則167条-2を適用)
- (5) リレー競技のオーダー用紙は、招集完了1時間前までに招集所に提出すること。
- (6) 跳躍種目（走高跳・走幅跳）においては、2ピットで競技を行う。

6. 練習について

- (1) ウォーミングアップは、すべて補助競技場または、雨天練習走路を使用すること。なお、安全に十分配慮し、練習会場係の指示に従うこと。
- (2) フィールド種目の練習は、競技開始前に競技場内で行う。

7. 表彰について

- (1) 表彰は、各種目とも3位まで、成績アナウンス後ただちに行う。入賞者は、決勝終了後、ただちに本部の表彰者控席で待機すること。
- (2) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、以下6、5～8位1点とする。
- (3) 団体は、男女別に総合の部3位まで表彰する。

8. その他

- (1) 使用する全天候用シューズのスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし走高跳については、12mm以下とする。
- (2) リレー競技でのブルーラインは、使用してもさしつかえない。
- (3) 異議、抗議の申し立ては、正式アナウンス後15分以内に各区専門委員を通して審判長に申し立てるものとする。
- (4) 競技中に発生した傷害、疾病について応急処置は、主催者において行うが、以後は各学校の責任とする。